

Yaizu Baton pass Project



横井ゼミ 3年A
若林海斗・谷口慧悟・橋本慧哉・小森有紗・穴谷菜摘

YBP持続可能な街づくり企画

1. 持続可能なまちづくり
2. プラン概要
3. 実現可能性・PR方法
4. 効果
5. まとめ

「持続可能なまちづくり」とは

私たちの考える持続可能なまちづくり

地域に関わるすべての人が観光資源で繋がり、

地域の魅力を発信することで

ヒト・資源・観光を循環させていくまちづくり

本プランの三軸

本プランの三軸

捨てられる温泉資源
の有効活用

U・Iターンの
増加・促進

将来的な文化継承の
人材育成

「焼津温泉を活かす」を模索していくなかで・・・

捨てられる温泉
資源の有効活用

U・Iターンの
増加・促進

将来的な文化継承
の人材育成

“

捨てられる温泉を活用して
新たな観光資源の1つ

とすることはできないだろうか

また、

焼津観光するなかで

ついでに利用してもらおう

方法はないのか考えた

”



焼津温泉では
1日の湧出量700トンのうち
温泉で使われているのは**半分以下**
焼津温泉を活かすために私たちは
捨てられている350トンに注目！

私たちの提案する排温泉水の使い道

足湯舟

スポーツドリンク
給水所の設置

プランの中で詳しく登場

焼津市について

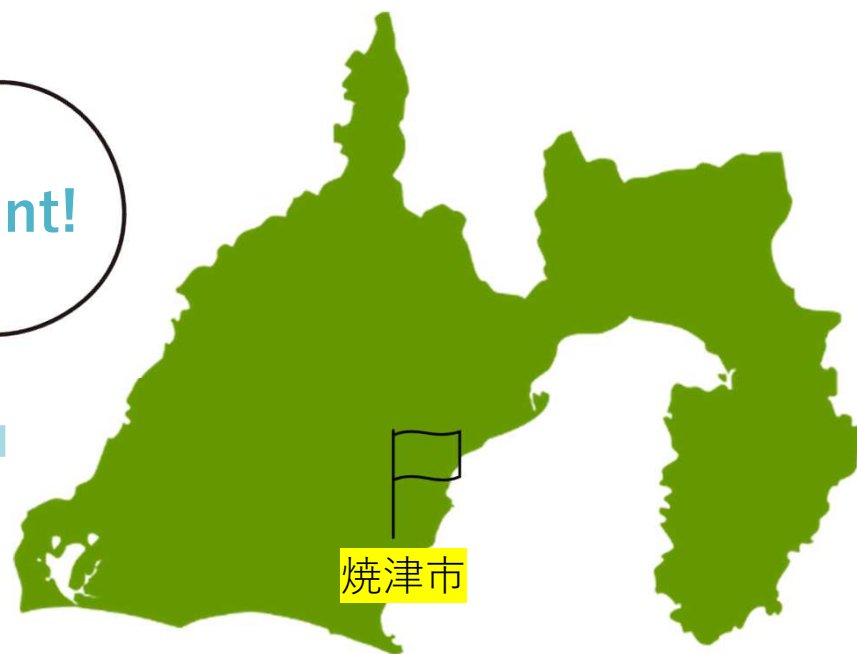
焼津市について

◎基本情報

- ✓ **静岡県**の真ん中に位置
- ✓ 人口 約14万人
- ✓ 日本で最も深い湾「**駿河湾**」を有する
- ✓ 焼津港・小川港・大井川港の**3つの漁港**

歴史ある自然豊かな水産都市

Point!



焼津市について

◎アクセス

✓ 東海道新幹線

 東京・名古屋から約1時間半

名古屋


約1時間半

焼津

約1時間半

東京

✓ 東名高速道路

 東京インターチェンジから110分 (173.6km)

東京と名古屋の中間地点で好立地



焼津市について

◎歴史

✓地名は古事記・日本書紀に登場

✓多くの古墳が発掘

→**歴史的重要な拠点** 

✓江戸時代にはすでにカツオの遠洋漁業があった

→**水産業の歴史も長い** 

市や文化の歴史が古い

其の処を号けて
焼津と曰ふ



焼津市について

学習施設が充実



ディスカバリー パーク焼津

焼津市出身の法月惣次郎氏が製作した天体望遠鏡や日本初ジェミニスターシステム導入のプラネタリウムを体験できる



焼津小泉八雲 記念館

明治の文豪小泉八雲が愛した焼津市で残した八雲の遺品・焼津が舞台の著書や草稿などが展示されている



深層水 ミュージアム

駿河湾からもたらされる深層水の取水地として駿河湾深層水に関する情報や知識を学べる



焼津漁業資料館

漁業の歴史が古い焼津ならではの往時港無き荒浜から現在の焼津港に成長した過程の品々を見学できる



焼津市歴史民俗 資料館

古くから伝わる漁具や民具など焼津にゆかりのある様ものが展示。『第五福竜丸』の写真や行政文書、新聞記事なども見学できる



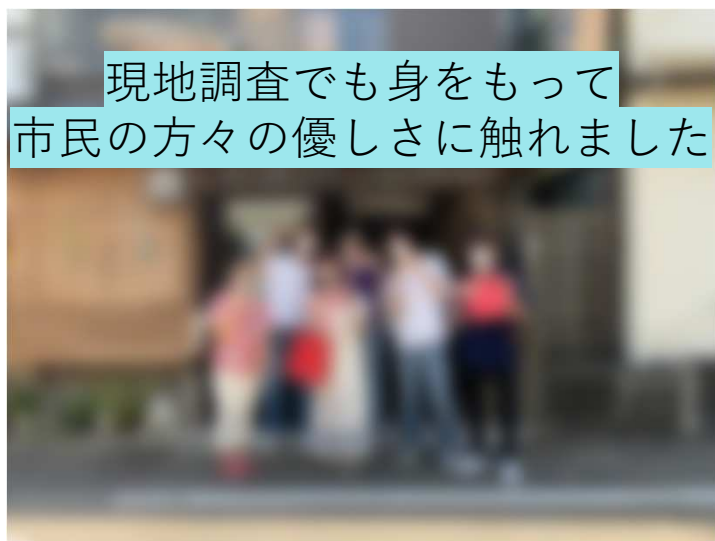
親水広場 ふいしゅーな

潮の満ち引きを利用して駿河湾の海水を引き込んでおり、潮の満ち引きを学んだり、海の生物とふれあうことが可能

焼津市について

焼津市を語る上で避けては通れないのは**市民の方の温かさ**

全員が
同じ回答



Q焼津市のいいところは？
A みんな優しいところ

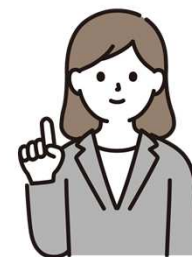
焼津市の温かさも強み



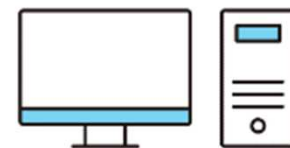
市内在住高校生
Mさん



焼津市市役所
鈴木様



齋藤商店様



焼津市魅力発信
サイト

焼津の観光資源はまだまだ沢山ある！



焼津温泉



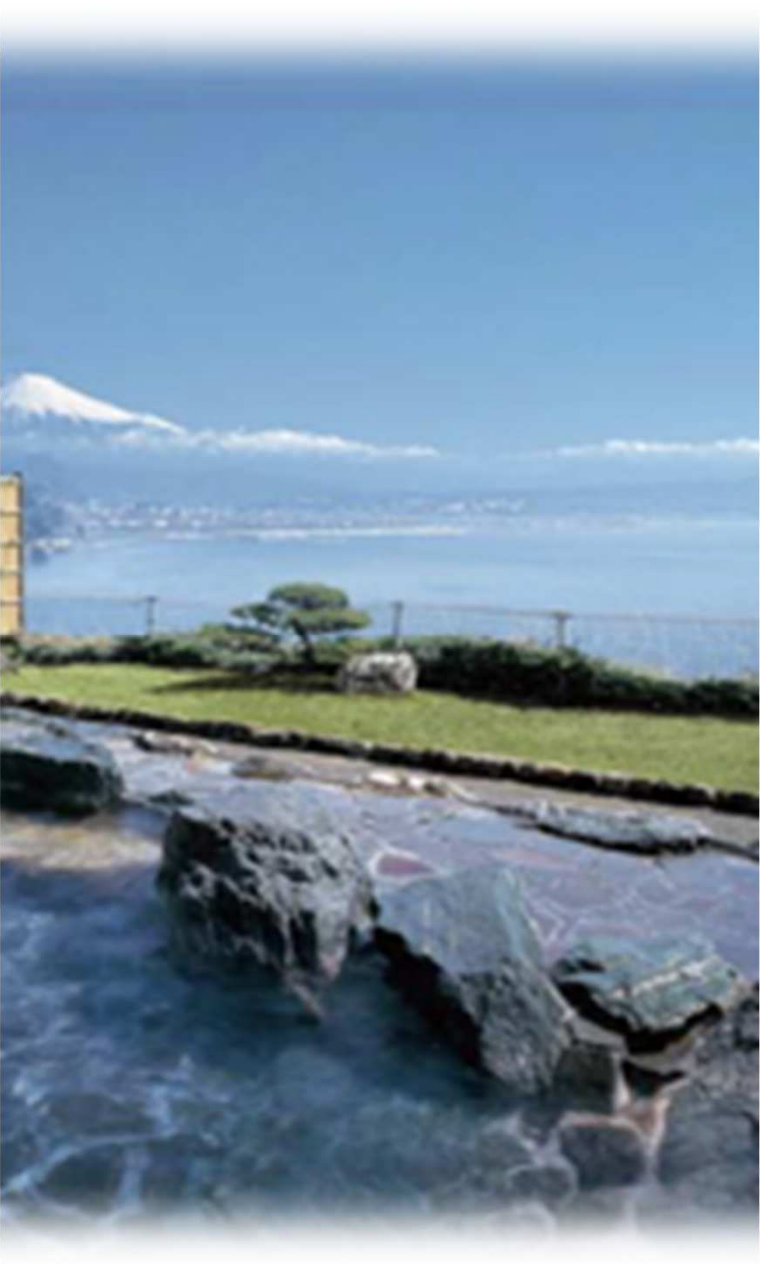
魚河岸シャツ



屋号



堀川



焼津温泉

特徴

地下1,500m、約1,900万年前の地層「女神層」から湧出する温泉成分豊富で良質な天然温泉

課題

焼津温泉自体の**知名度が低い**

また、1日**350トン以上**の温泉水が利用されずに捨てられている

魚河岸シャツ



特徴

昔から港町焼津の人々に親しまれている
手ぬぐい生地で作られた通気性に優れたシャツ

課題

特に若い世代での**着用率が低下**
また、コロナ禍における祭り中止などの影響で
着用機会が減少している



屋号

特徴

焼津市は古くから漁業が栄えた町

現在でも商習慣として屋号が利用されている

焼津信用金庫は全国で**唯一**屋号を持っている
金融機関と言われている

課題

屋号が繁栄していた浜通りでは

400あったとされている屋号は現在100まで減少した



堀川

特徴

1762年に開通

昔は木材などを運ぶ運河として利用されていた



花沢の里

特徴

江戸時代から明治期にかけての町並みが残る山村集落
重要伝統的建造物群保存地区にも選定

そんな焼津市の課題とは？



観光資源を
活かさきれていない



若者の転出



観光資源を
活かしきれしていない

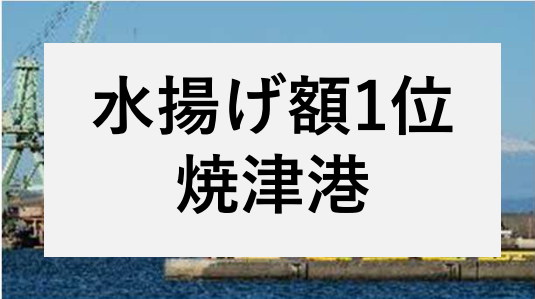


若者の転出

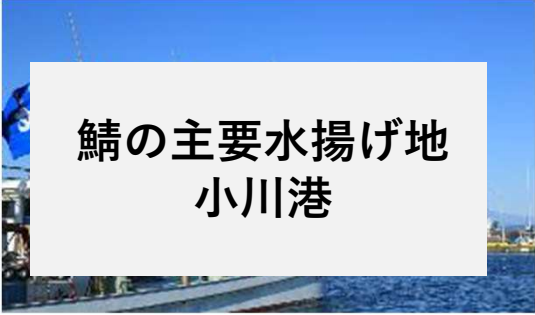
焼津市の課題

①観光資源を活かしきれていない

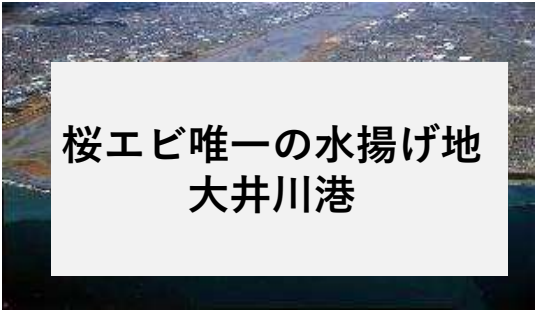
焼津市といえば・・・



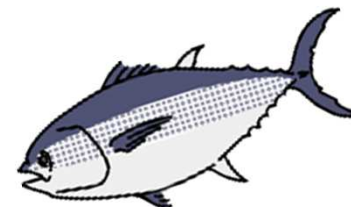
水揚げ額1位
焼津港



鯖の主要水揚げ地
小川港

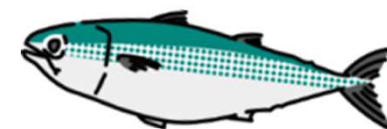


桜エビ唯一の水揚げ地
大井川港



焼津市 = 港町

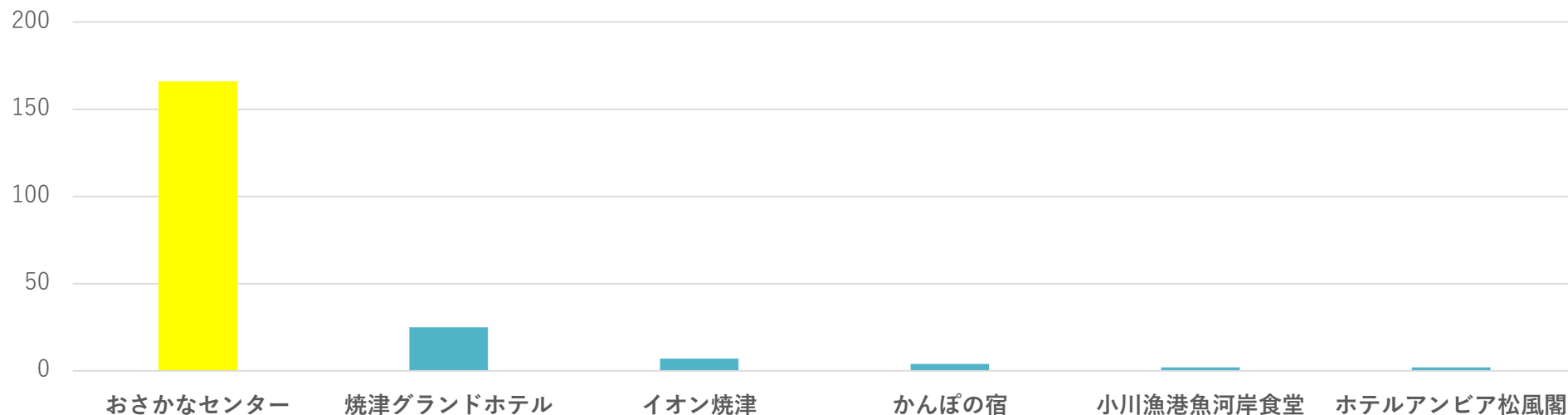
のイメージが強い



経路検索データによると

①観光資源を活かしきれていない

検索された回数



焼津おさかなセンター

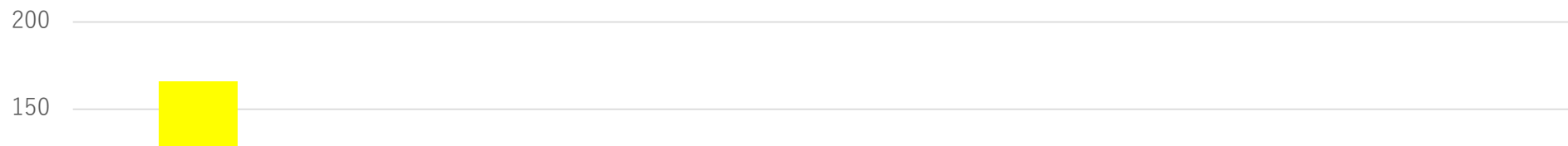
市場の雰囲気味わって楽しめる水産地総合市場
東名焼津インターから車で1分と好立地

⇒観光客が市内まで入ってこない

経路検索データによると

検索された回数

①観光資源を活かしきれていない



焼津市の魅力が知られていない



市場の雰囲気を楽しめる水産地総合市場
東名焼津インターから車で1分と好立地

⇒観光客が市内まで入ってこない

このように焼津市に豊富にある

資源を活かしたまちづくりをしていく必要がある！



焼津市市役所鈴木様

焼津市の豊富な資源が
観光へ繋がっていない

若い人たちに焼津の
よさを広げていきたい



齋藤商店様



観光資源を
活かさきれていない



若者の転出

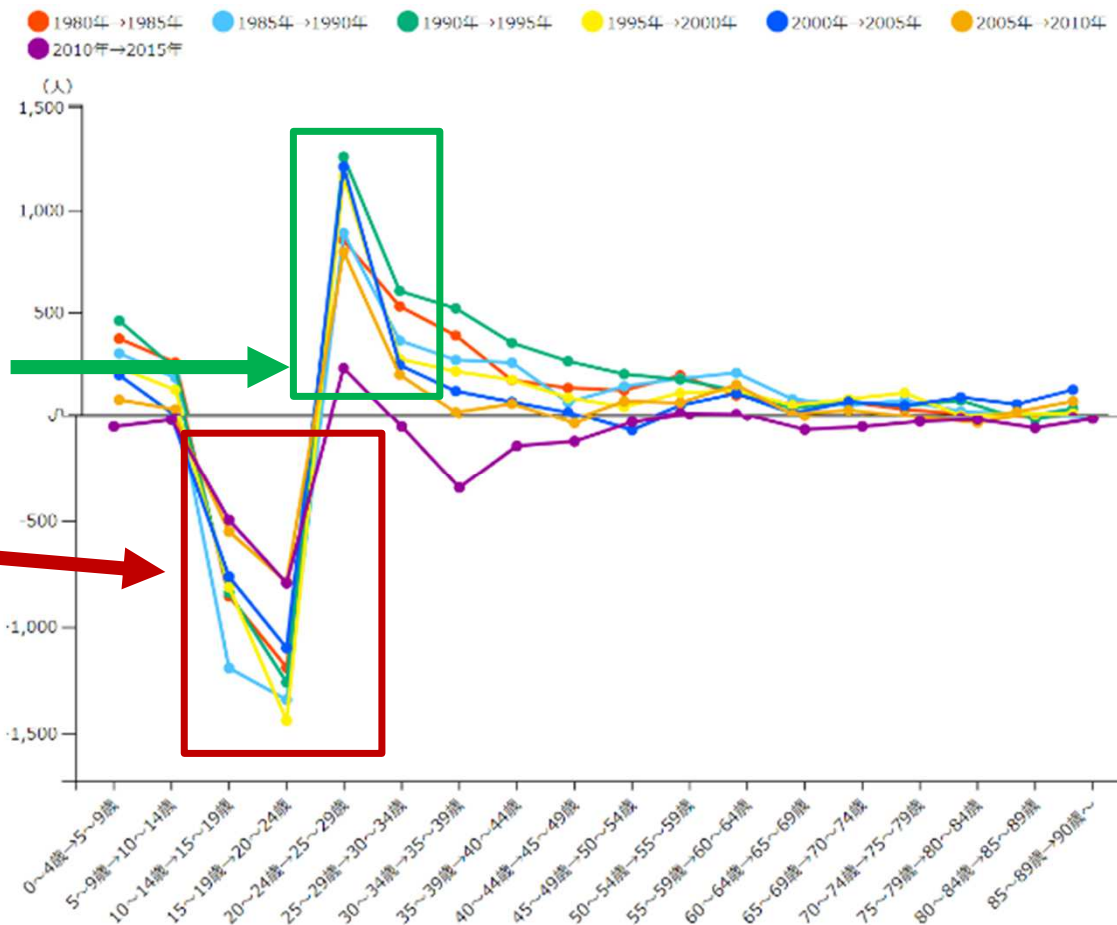
②若者の転出

焼津市における年齢階級別純移動数の時系列分析

近年は20代後半の転入者が少ない



15歳～24歳の若者の転出者数が多い

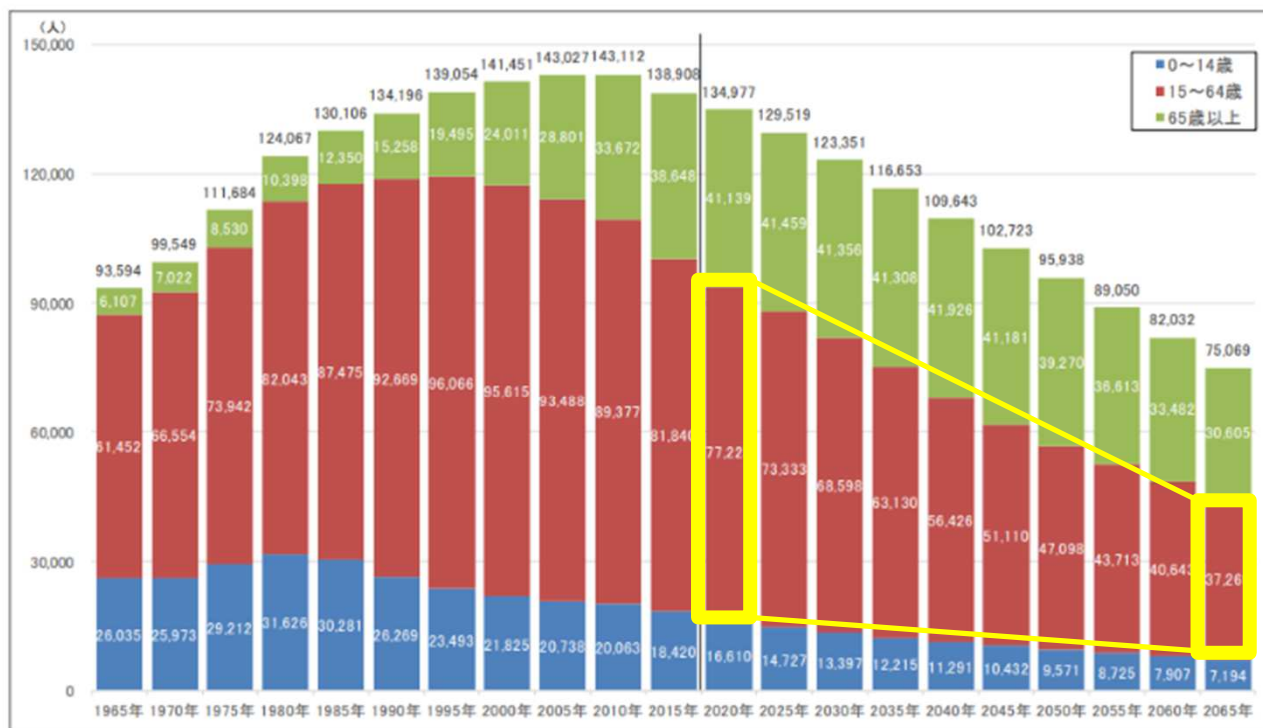


出典：<https://resas.go.jp/population-society/#/movement/22/22212/2/1/4/2020/7.378324098961623/35.524143166910136/138.84619827120872>

②若者の転出

生産年齢人口の減少

焼津市の人口の推移と推計



※2015年以前の実績値は、総人口から年齢不詳の人口を除いています。

出所：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

②若者の転出

静岡県出身の首都圏居住者18歳～39歳への調査

静岡県へのUターン意向があるか

理 由	静岡県	全 国
絶対戻りたい	4.7%	5.9%
まあ戻りたい	23.1%	21.9%
どちらでもいい	34.5%	38.9%
あまり戻りたくない	26.6%	23.5%
絶対戻りたくない	11.1%	9.9%

1



**若者の転出を減少+Uターン意欲を高める
必要がある**

②若者の転出

静岡県出身の首都圏居住者18歳～39歳への調査

静岡県へのUターン意向があるか

若者へ向けたアピールが必要




**若者の転出を減少+Uターン意欲を高める
必要がある**

課

題

強み



焼津市の資源を活用して
魅力を発信



若者へ向けたアピール



文化・歴史の継承



持続可能な観光まちづくり

これを実現させるために
ターゲットを**大学生**に決定

なぜ大学生？

<図2>

2020年度、満足にできた学習／満足にできなかった学習

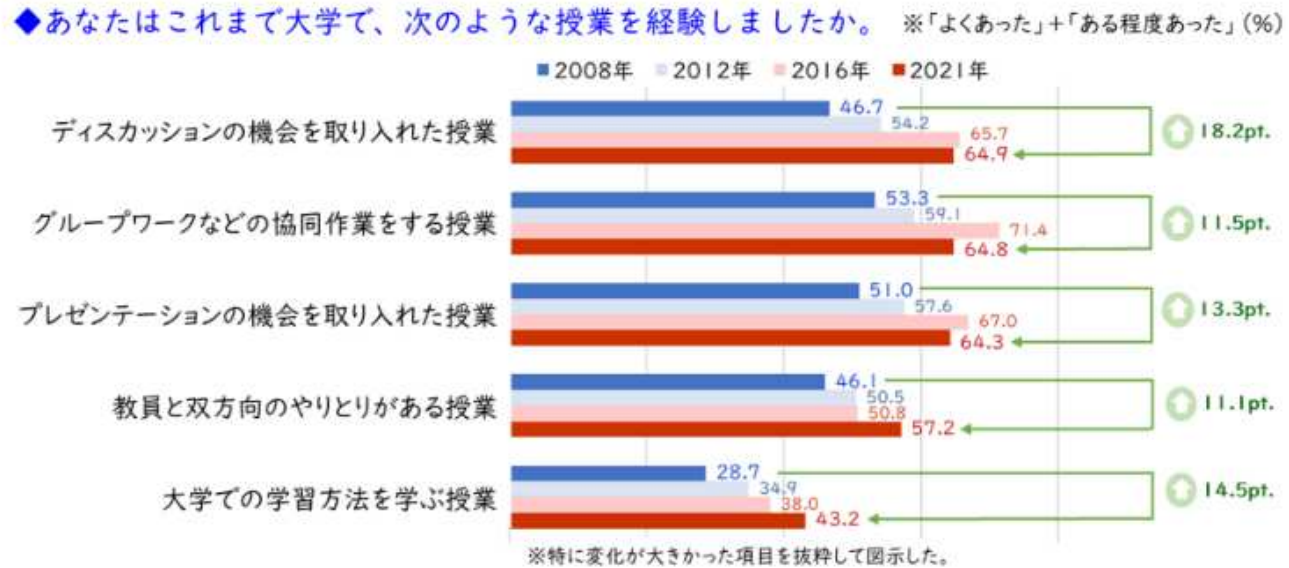
	実施率 (%)	人数	満足に できなかった学習	満足に できた学習	差分 (満足-不満)
ゼミ活動・研究室	38.2	359	28.7	54.6	+25.9
授業前後の課題やレポート	65.8	619	27.6	52.2	+24.6
資格取得のための勉強	27.0	254	32.3	51.6	+19.3
専門的な知識を深める	35.3	332	32.5	51.5	+19.0
授業外の講座（公務員試験対策講座など）	13.7	129	34.1	51.2	+17.1
授業の受講	64.8	610	33.8	44.6	+10.8
インターンシップ	11.8	111	32.4	43.2	+10.8
実験	17.7	167	38.9	44.9	+6.0
学外のコンテストやコンペティション	5.8	55	41.8	45.5	+3.6
語学学習	26.7	251	39.0	40.2	+1.2
実習、フィールドワーク	24.2	228	43.0	39.9	-3.1
コンピュータールームや図書館など大学施設を活用した勉強	27.1	255	43.9	40.4	-3.5
授業内容の深掘り学習	21.7	204	39.7	35.3	-4.4
学内のコンテストやコンペティション	6.2	58	44.8	37.9	-6.9
ディベート	12.5	118	45.8	32.2	-13.6
ボランティア	7.0	66	48.5	28.8	-19.7
課外活動	15.6	147	57.8	32.7	-25.2
留学（オンライン留学含む）	5.2	49	57.1	22.4	-34.7

※差分（満足-不満）の高い順にソート

コロナウイルスの影響により
大学生は実践を伴う活動が満足にできず
「リアルな学び」を渴望している

➡ **フィールドワークをしたい**
という需要が高い

さらに・・・



アクティブラーニング形式を取り入れている大学が増加している

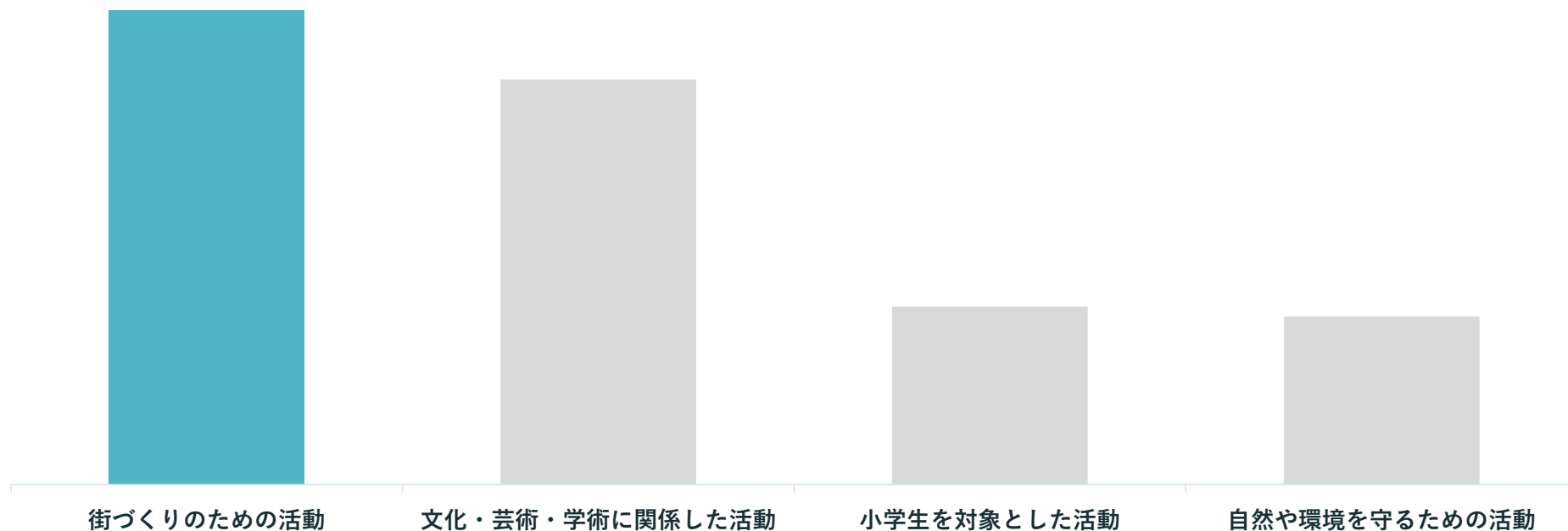


大学側も実践的に学ぶ場を求めている

大学生約2300人に聞いた

今後取り組んでみたい活動

31.3%



大学生のまちづくりに対する関心は高い

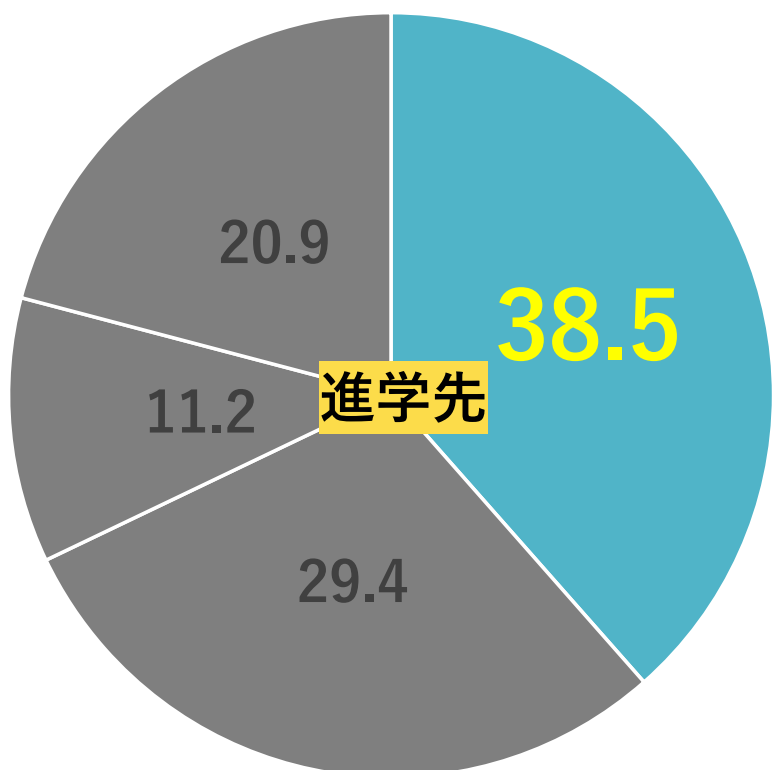
実践的な学びが教育現場で求められているのに加え、
まちづくりに関心を持っている大学生も多い

➡ ゼミの課外活動として大学生を誘致し
教育を通して焼津を発信し課題を解決していく

具体的にはどこの**大学生**？

関東圏への大学進学者

静岡県からの進学先割合



関東圏への進学割合

38.5%

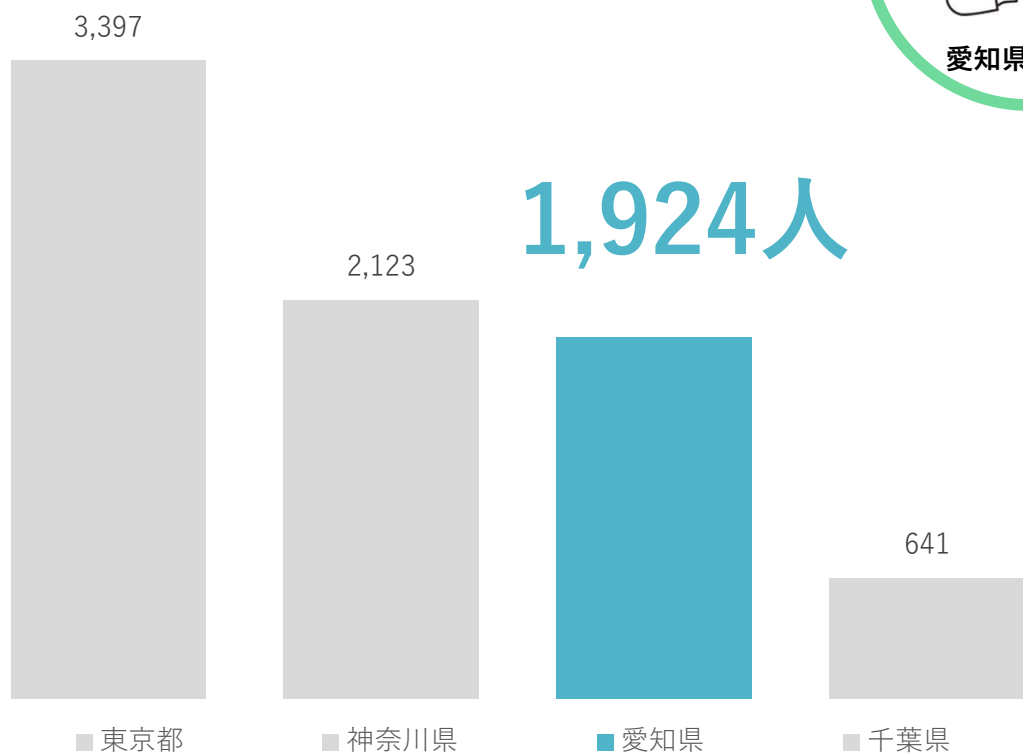
県外進学者のみで見ると

5割以上

■ 関東圏 ■ 静岡 ■ 愛知 ■ その他

愛知県への大学進学者

静岡県外進学者数(転出先)



関東圏以外進学者

愛知県

第1位

愛知県への大学進学者

静岡県外進学者数(転出先)



静岡県出身者が多い**関東圏**と**愛知県**の
大学生をターゲットに！



ターゲットまとめ

関東圏と愛知県在住のまちづくり
に関心のある大学生

そこで私たちが提案するのは

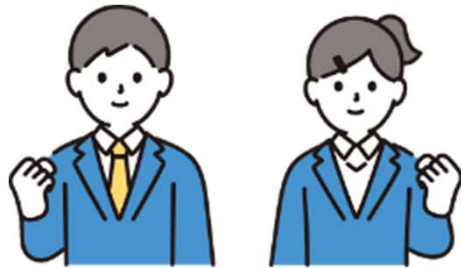


YBPとは？

Yaizu Baton pass Project

県外の学生と地元の高校生が協力しながら
持続可能なまちづくりの実現を目指すプロジェクト

プラン概要



地元の高校生



外部の大学生

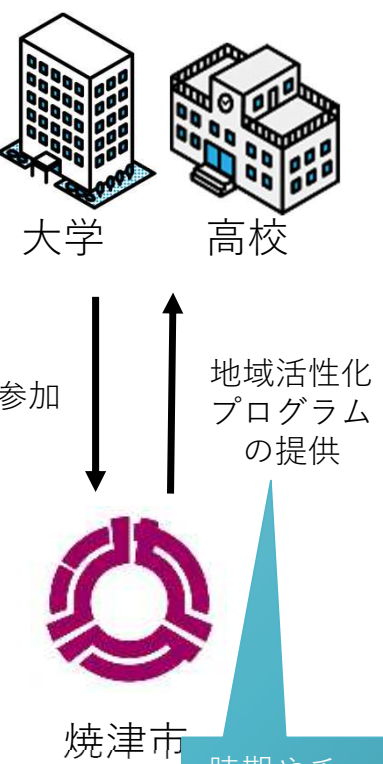


焼津市民

持続可能なまちづくり

YBPの実施を提案

Yaizu Baton pass Project **焼** 全体像



高校生と大学生のマッチング

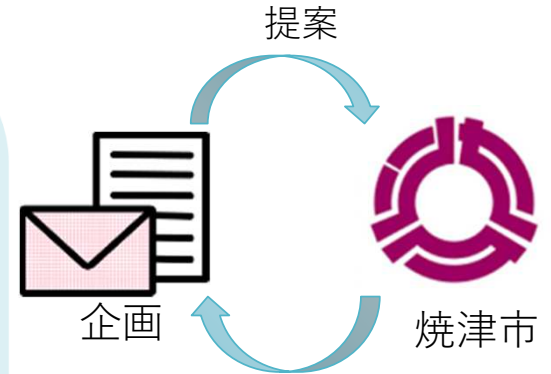
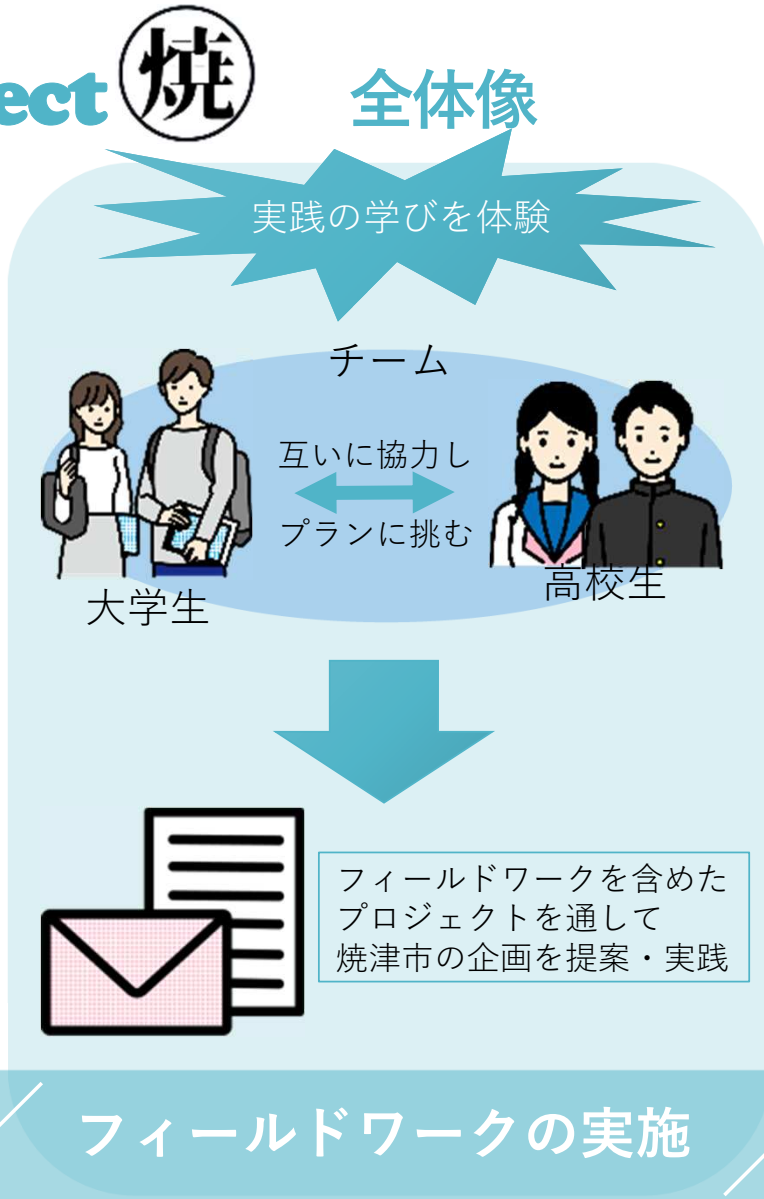
課題の発表



質問に回答するなど 高校生の学びを補助



焼津市民



このサイクルを繋いでいくことで **持続可能なまちづくり** を目指す

体験を通して・・・
大学生には**Iターン・Uターン就職**
高校生には**地元進学**
の選択肢を持ってもらう

YBP 事前準備 / フィールドワークの実施 / その後

補足説明

事前準備

- ・ 大学が焼津市に対して参加を表明し、焼津市が地元の高校に対し地域活性化のプログラムを提供する
- ・ 焼津市が大学生と地元の高校とをマッチングさせる
- ・ 高校生がオンライン会議を通して大学生が学びたいものの提案を受け事前に学んでおく

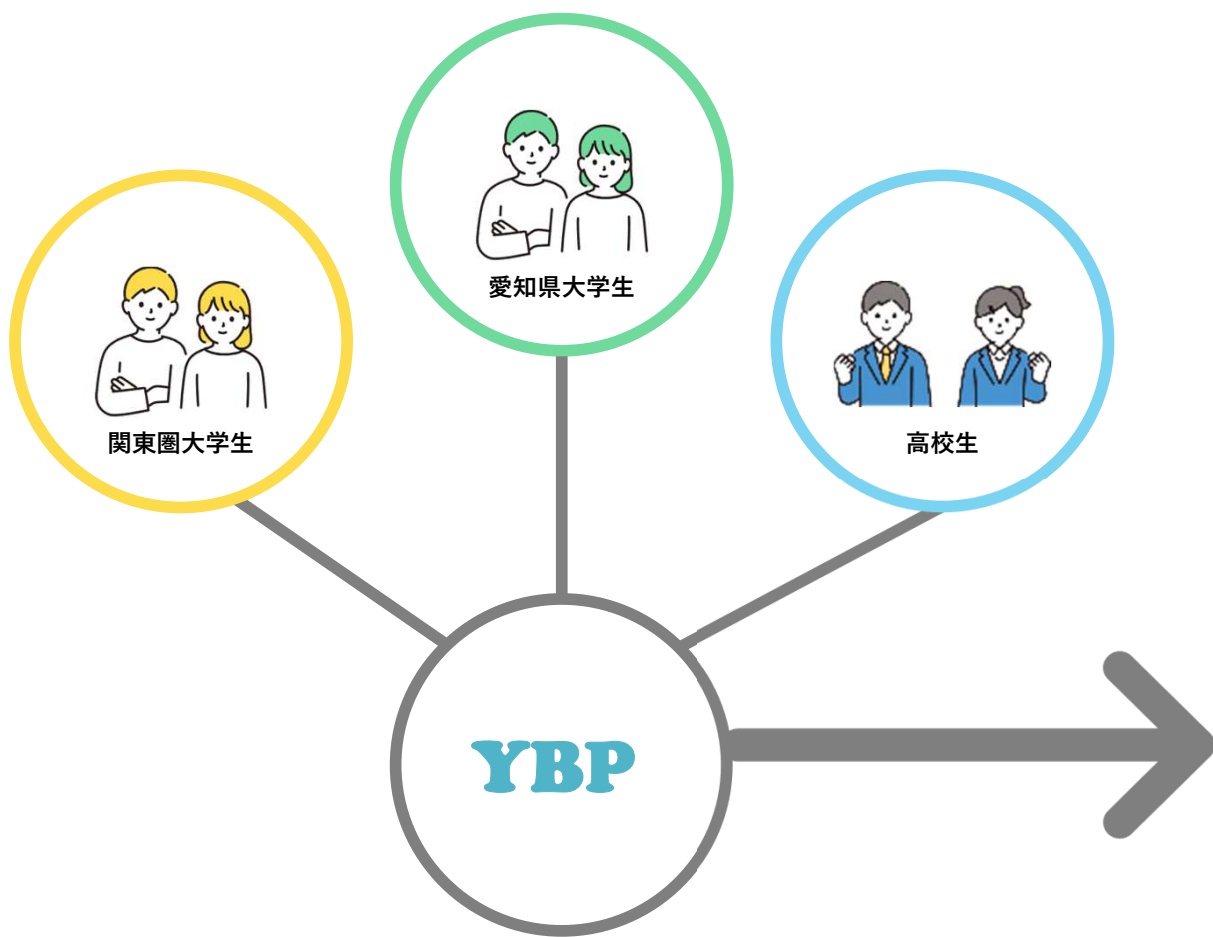
フィールドワークの実施

- ・ 大学生と高校生がチームとなりフィールドワークを通して焼津市の現地調査を行っていく
- ・ フィールドワークを含めた調査を通して学んだことを生かし焼津市の観光に関する企画を、提案・実践

その後

- ・ 企画の提案・実践のサイクルを繋いでいくことで、観光を活性化させ、持続可能な街づくりを目指す
- ・ 体験を通して、、、
大学生にはU・Iターン就職の選択肢を、高校生には地元進学の選択肢を持ってもらう





未来への担い手



未来の担い手へバトンをつなぎながら継続的に焼津の魅力を磨くことで、観光を活性化させることができる。

ニューノーマルな点

単なる観光ではなく、

**教育という形で若者から新しい
アイデアを享受しながら継続的に観光客を増やしていく
プランであること**

このプランを通して

**高校生・大学生が地元の魅力を感じ、地元に戻って
働くサイクルを作り出していること**

YBPはSDG sにも繋がる



YBPを通して

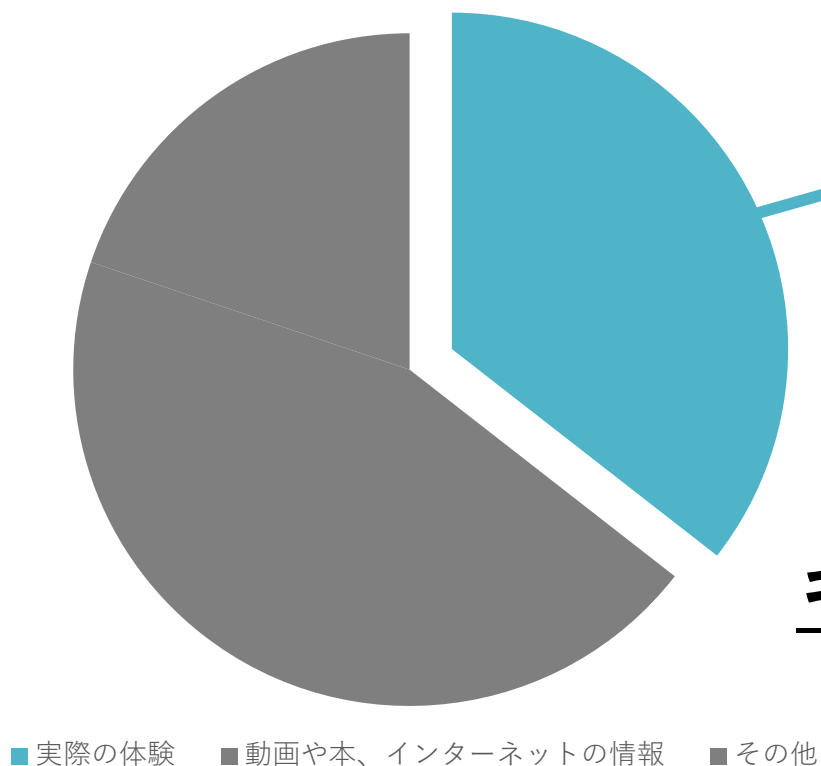
6つのSDG s が

達成可能

なぜ高校生？

なぜ高校生？

将来なりたい職業を思いついたきっかけ(n=580)



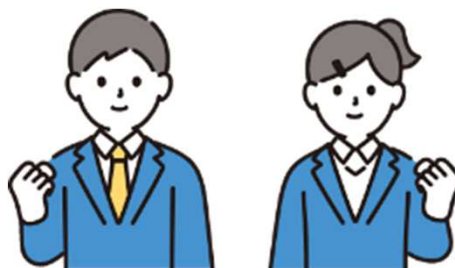
「**実際の体験**」と回答した人

35.5%



キャリア形成のきっかけづくりができる

なぜ高校生？



緩和必要

若者の転出

キャリア形成期である市内の高校生に
焼津市に興味を持ってもらうのが近道！

▶ **地元進学誘発可能性** (有)

まちづくりに関心をもつ高校生を育てることで焼津市の人材育成へとつなげる

YBPのメリットとは

焼津市のメリット

メリット1

焼津文化・伝統の
将来を担う人材育成

メリット2

若者の市外転出の
減少

メリット3

U・Iターン就職の
増加

メリット4

客観的な視点による
現状把握、資源の
魅力の再認識

メリット5

学生のプラン創出に
より持続的な
地域活性化が可能

メリット6

若者のPRによって
焼津市自体の全国的
な認知度の向上

メリット

静岡県出身大学生

Uターン促進
地元進学
地元愛の深まり
魅力を再認識
地元活性化に貢献

他県出身大学生

Iターン促進
地方現状を知ることができる
焼津愛の深まり
焼津への関心が高まる
地方創生に貢献

静岡出身者

県外出身者

双方に
メリットあり

学生共通のメリット

国内旅行の目的

2位 グルメ

3位 温泉！

メリット1

ごはんが魅力的
+
温泉がある

メリット2

プログラムを通して
地域活性化に携わ
ることができる

メリット3

交流を通して学生間
同士の学びを共有す
ることができる

メリット4

実践的な学びを実現し
社会に出ても通用する
力を身に着ける

学生共通のメリット

メリット1

ごはんが魅力的

メリット2

プログラムを通して
地域活性化に携わる

プランを通して**社会人基礎力**を
身につけることができる

ることができる

力を身につける

社会人基礎力とは？

社会人基礎力

社会人基礎力とは？

前に踏み出す力



一步踏み出して
失敗しても粘りよく取り組む力

Point!

主体性
働きかけ力
実行力

考える力



疑問を持ち
考え抜く力

チームで動く力



多様な人々と共に
目標に向けて協力する力

Point!

課題発見力
計画力
創造力

発信力
傾聴力
柔軟性
状況把握力
規律性
ストレスコントロール力

社会人基礎力を身に着けるため
にはフィールドワーク！

なぜフィールドワークなのか

- ①大阪商業大学の研究により、フィールドワークによって社会的問題解決能力と価値観の両方が向上することを統計的に確認された
- ②経済産業省が出している「社会人基礎力を育成する授業30選」でも実践型学習が取り上げられている



フィールドワークは社会人基礎力を身に着けるのに有効

焼津市は
フィールドワークをするのに最適

✓ 全国有数の遠洋漁業基地 水揚げ額**日本一**

→ **1000年以上続く** 鰹漁業

✓ 東京と名古屋の中間地点でインターチェンジもある **アクセスの良さ**

✓ 山と海と川がそろった **自然の豊かさ**

✓ 焼津市の良さである **人の温かさ** が調査しやすい環境を作る

✓ 3つの特徴が異なる漁港や学習施設の完備などフィールドワークを行うのに最適な **学習環境** が整っている

 **立地・伝統・整った学習環境がある焼津市は
フィールドワークに最適だと言える！**

プランを円滑に進める準備

円滑な運営のために

専用サイトの開設

高校や大学からの**申し込み**や
高校生と大学生の**マッチング**を行える

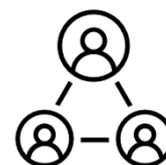
マッチングしたあとはこのサイトから
オンライン会議が行えるように設定

高校生が知識豊富な焼津市民に**相談できるフォーム**を設置
また、焼津市の知識や情報をまとめ、高校生の知識を補助

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



マッチング



オンライン会議



サポート

一括管理





円滑な運営のために

観光MaaSの利用

観光MaaSとは？

移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて
検索・予約・決済等を一括で行うサービス（国土交通省より）

➡ **YBP専用サイトに組み込むことでより便利、より快適に焼津市内を移動可能に！**

平均訪問スポット数

MaaS利用者 **4.2**

MaaS非利用者 **3.4**

効率的に訪れることでの波及効果が期待できる

さらに・・・

利用状況を見て、地域住民が利用できるように拡大していく



**焼津市が都市部の交通利便性に劣らないため
Iターン・Uターンに貢献できる**

円滑な現地調査をするために


焼津市の資源を活かして課題解決に繋げながら現地調査をサポートする仕組みを提案！

浜通りを中心に
キャッシュレス化

魚河岸シャツ
着用による割引

交通手段の多様化


給水所の設置



浜通りを中心に
キャッシュレス化



交通手段の多様化



魚河岸シャツ
着用による割引



給水所の設置

浜通りキャッシュレス化

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



11 住み続けられる
まちづくりを



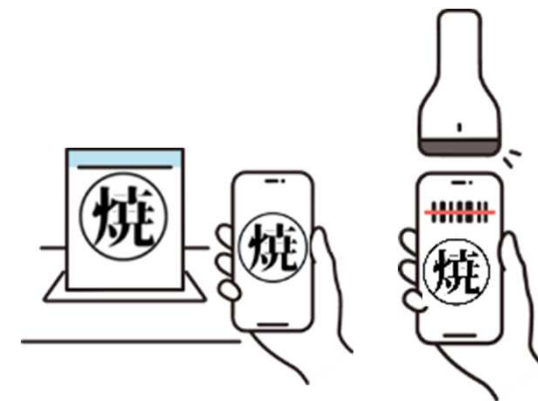
浜通り：焼津の遠洋漁業、水産加工業発祥の地。

沿岸部独特の家屋、小路などが残っている風情ある通り。

浜通りには昔の名残で屋号を使っているお店がたくさん！

◎現在でも屋号を用いて会計を行う文化が残っている！

屋号をQRコードのようにかざして決済できる仕組みを導入
利用者は事前に入金しておくことで利用可能



➡ 屋号を用いた支払いで、**屋号文化を疑似体験できる**

浜通りを中心に
キャッシュレス化

交通手段の多様化

魚河岸シャツ
着用による割引

給水所の設置

魚河岸シャツ着用で割引

魚河岸シャツの
着用機会が減少している



斉藤商店様



魚河岸シャツを着用していると・・・

- ✓ 協力店での割引や特典を受けられるように！
- ✓ 足湯船の乗船料が600円から300円に！

魚河岸シャツ着用の促進を図る

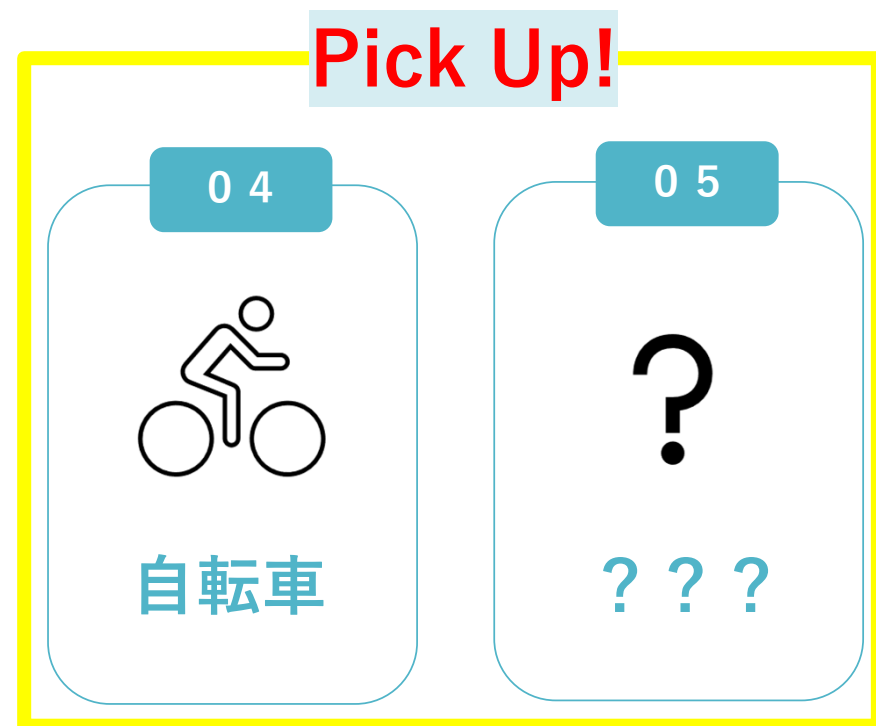
浜通りを中心に
キャッシュレス化

交通手段の多様化

魚河岸シャツ
着用による割引

給水所の設置

交通手段の多様化



既存の4つ + 新規の1つを提案!



自転車

11 住み続けられる
まちづくりを



焼津市での取り組み **レンタサイクル**

焼津市内 6 つある
レンタル受付ステーションを増設することで
フィールドワークを効率的に行えるようにする

既存のプロジェクトを有効活用



もう一つの移動手段は足湯船



? 足湯船

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



12 つくる責任
つかう責任



11 住み続けられる
まちづくりを



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



焼津市の土地形状を活かして水路に足湯船を運行！

市内の内陸部の方まで
川が流れている
= 交通手段となり得る

焼津漁港と小川漁港が
水路
でつながっている



幅も充分！

カヤック体験も
開催されている！
実現可能性も高い



赤線は河・川

? 足湯船

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



12 つくる責任
つかう責任



11 住み続けられる
まちづくりを



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



◎足湯船の具体的なプラン

✓ どんこ舟に腰掛けと桶を設置

✓ 6人の乗りで焼津市内の川を運行する

✓ 橋の高さが低く、通りぬけ不可能な橋周辺に「足湯船ステーション」を設置

→足湯船ステーションで乗

✓ 乗り放題で**600円**



どんこ舟



ように

次ページで説明

季節の景色も楽しめる！

? 足湯船

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



12 つくる責任
つかう責任



11 住み続けられる
まちづくりを



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



◎足湯ステーション

マップにも
記載



焼津市内の通り抜けできない橋に「足湯船ステーション」を設置することで乗客の乗り降りや足湯の交換などを行うことができる場である

また
お店に協賛してもらい、各足湯船ステーションの名前を協賛してもらえたお店の屋号で表す（例：マルヨコ前）

➡ 市内全体や観光客に屋号の認知度を
高めることができる

? 足湯船

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



12 つくる責任
つかう責任



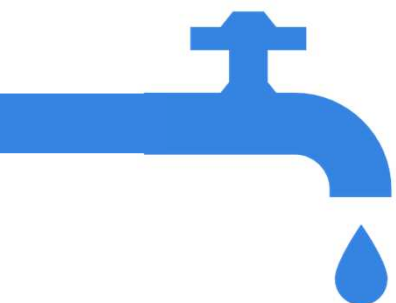
11 住み続けられる
まちづくりを



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



◎足湯船を運行することで得られる効果



■ 足湯舟 ■ 捨てられる温泉

1時間3往復
一日当たり**30往復**運航

1日に捨てられる温泉量

350_{トン}



足湯舟を運行することで

15_{トン}の温泉を利用可能

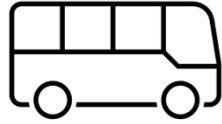
温泉を有効活用し、新しい試みで話題性を呼ぶ！

01



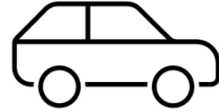
電車

02



バス

03



自動車

04



自転車

05



足湯船



5つの交通手段を使用することで
様々な角度からのフィールドワークが可能に

視野が増え、フィールドワークの可能性がさらに拡大!

交通をさらに便利に

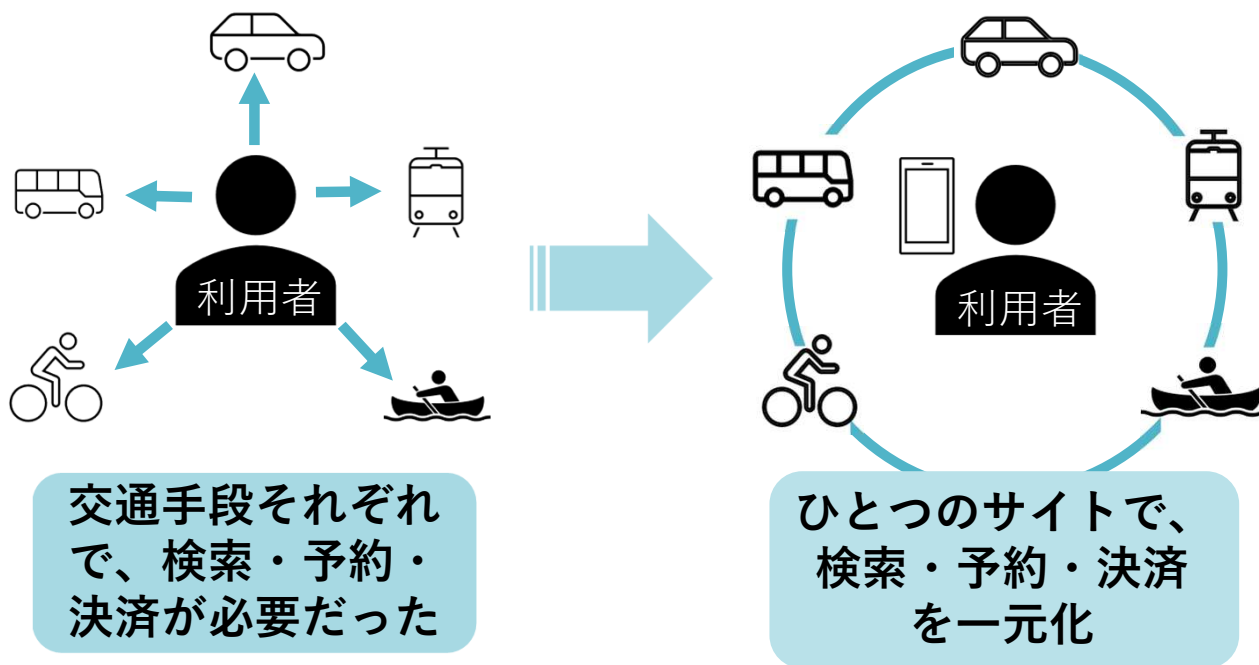
9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



11 住み続けられる
まちづくりを



17 パートナースhipで
目標を達成しよう



MaaSを利用することで
検索・予約・決済の流れが一元化！



より効率的にフィールドワークを
行うことが可能に

MaaSを使用

浜通りを中心に
キャッシュレス化

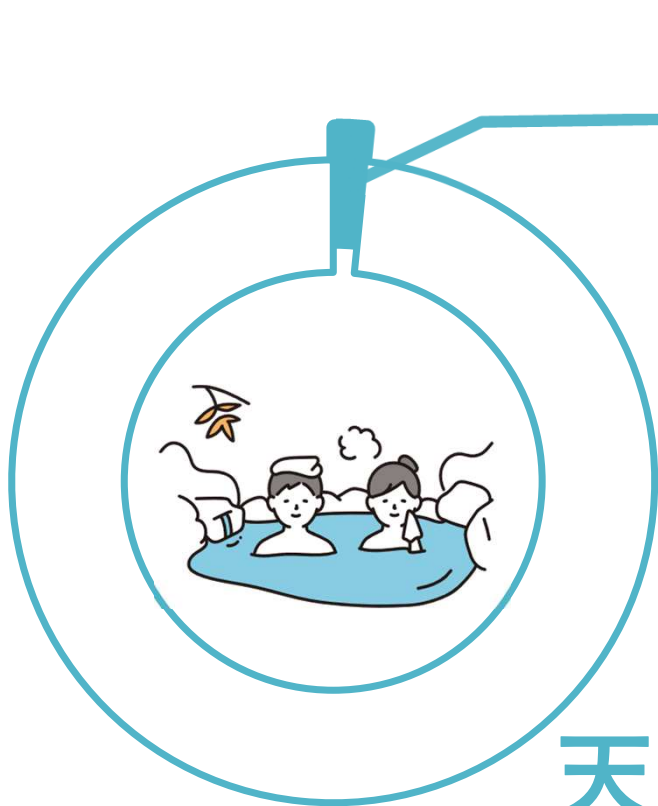
交通手段の多様化

魚河岸シャツ
着用による割引

給水所の設置



焼津温泉の成分に注目！！



温泉の塩分濃度

1.6%

+

豊富なミネラル

Ca
Zn
Mg

この塩分・ミネラルを利用して
天然スポーツドリンクとして提供



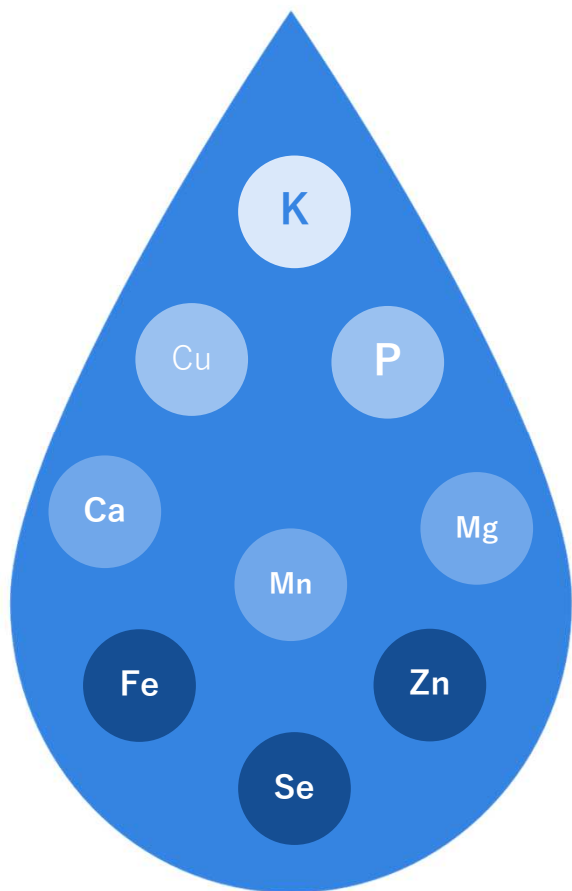
しかしそのままだとしょっぱすぎる！

焼津温泉を駿河純水で薄めて
スポーツドリンクにすることを
提案！





駿河湾の深層水に含まれるミネラル

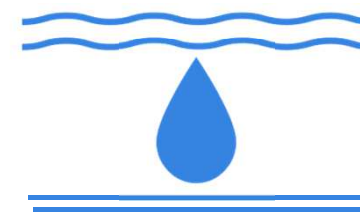


温泉スポドリの内容物

焼津温泉の塩分



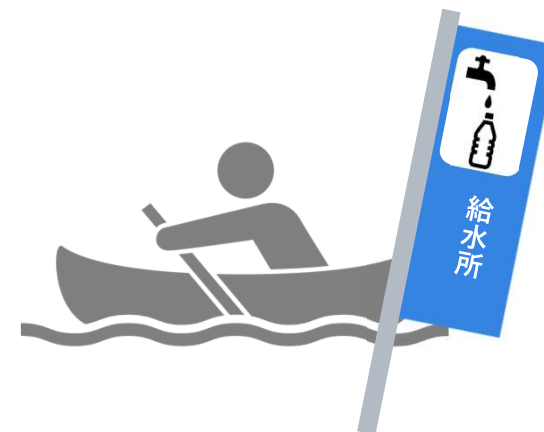
深層水のミネラル



相乗効果が期待できる



給水所の設置



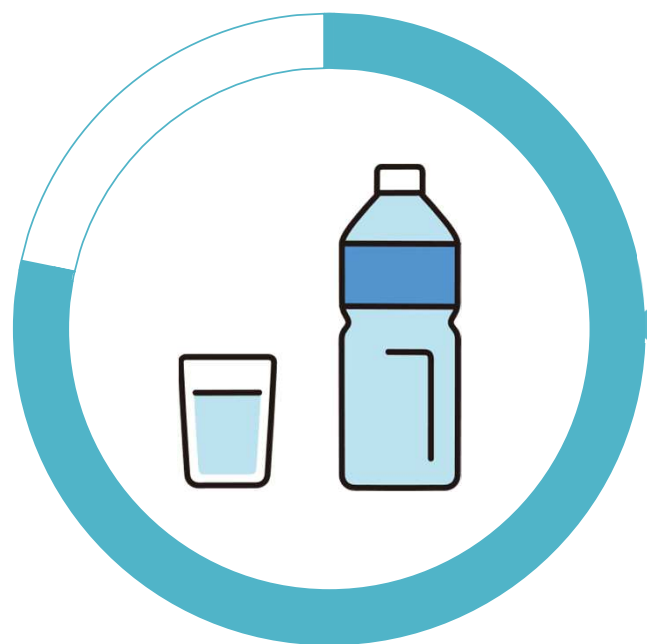
焼津Myボトル
YBP参加者に無料で
配布

スポーツドリンク
焼津温泉の天然の塩分を
活用

給水所
各足湯船ステーションに
設置



マイボトル・水筒だけで足りずに
追加で飲み物を買ったことがある。



「はい」

78.2%

各足湯舟ステーションに
給水所設置



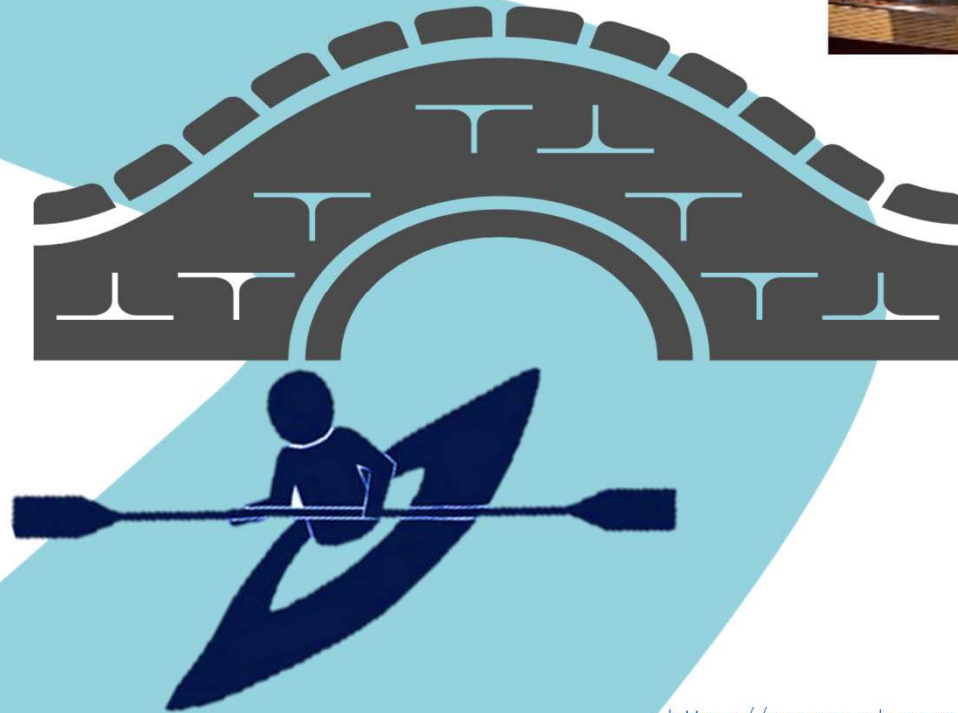
追加飲み物購入
不要に！

環境にやさしく持続可能に繋がる

給水所イメージ



通り抜け
できない橋



参考イメージ

事例



スポーツドリンク ミウスポーツアップ

室戸海洋深層水を使用した

ミウブランド初の機能性表示食品※のスポーツドリンク

クエン酸2700mgを配合し、爽やかな酸味と共に、
運動後の一時的な疲労感を軽減。

※【届出表示】本品にはクエン酸が含まれます。

クエン酸は継続的な摂取により、
日常生活や運動後の一時的な疲労感を軽減することが報告されています。

■本品は、国の許可を受けたものではありません。

■本品は、疾病の診断、治療、予防を目的としたものではありません。

■食生活は、主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを

深層水を使用した
事例アリ👍



<https://www.dydo.co.jp/products/detail/1036>

事例

スポーツドリンク

深層水を使用した
事例アリ 

温泉と深層水からスポーツドリンクを 作ることは実現可能！！



- 本品は、国の許可を受けたものではありません。
- 本品は、疾病の診断、治療、予防を目的としたものではありません。
- 食生活は、主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを



<https://www.dydo.co.jp/products/detail/1036>

モデルプラン

Yaizu Baton pass Projectプラン例

お題

1. 浜通りの屋号をテーマにバーチャル経営プラン
2. 焼津温泉の有効利用について考える足湯船巡りプラン
3. 魚河岸シャツの可能性を広げるスタイル提案プラン

全プラン共通

1日目

6:00	
7:00	
8:00	
9:00	
10:00	
11:00	
12:00	到着
13:00	昼食を兼ねながら 高校生と大学生がアイスブレイク
14:00	
15:00	高校生の案内を受けながら フィールドワークの実施
16:00	
17:00	
18:00	夕食
19:00	
20:00	オンライン会議
21:00	
22:00	
23:00	就寝
24:00	
25:00	

事前のオンライン会議を踏まえ、予定していたスポットを巡る

高校生は帰宅
大学生は連携している宿へ

屋号の読み方当てクイズなどでチームの緊張をほぐす

フィードバックと翌日の行程決定

焼津温泉でリラックス

Yaizu Baton pass Projectプラン例

お題

1. 浜通りの屋号をテーマにバーチャル経営プラン
2. 焼津温泉の有効利用について考える足湯船巡りプラン
3. 魚河岸シャツの可能性を広げるスタイル提案プラン

モデルプランー1

3泊4日と想定する

4 質の高い教育を
みんなに



8 働きがいも
経済成長も



17 パートナースHIPで
目標を達成しよう



◎事前準備

浜通りにある屋号を持つ企業は
自社の屋号がデザインされた魚河岸シャツを作業服にする



イメージ

2日目

「屋号だけが記載されたマップ」を参考に浜通りでフィールドワークを行う

その屋号がどんな企業が
推測しながら浜通りを巡る



実際に興味をもった企業を
訪れ企業について学ぶ

足湯舟で移動



屋号入りの魚河岸シャツを
着た人へ聞き込み調査

1日の
フィードバックと
3日目に向けて
オンライン会議

→その企業についてなどや屋号の成り立ちについて実際に聞く

モデルプランナー1

4 質の高い教育を
みんなに



8 働きがいも
経済成長も



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



3 日目

興味を持った屋号の企業で販路拡大バーチャル経営戦略を立案

- ✓ 2 日目に選定した企業の商品やサービスがどうしたらもっと売れるのか、広まるのかをチームで考える
- ✓ 4 日目のコンペティションに向けて発表準備

4 日目

他のチームとのコンペティション + 企業への提案

- ✓ 他の参加者チームとコンペティションを行い意見交換を行う
- ✓ 参加チームやYBPから選ばれた企画は企業への提案へと繋がる

4 質の高い教育を
みんなに



8 働きがいも
経済成長も



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



モデルプランー1

コンペティション後は・・・

それぞれのチームで調査した結果を基に、それぞれの屋号の特徴や情報を出し合いながらすべてのチームで**観光客向けの観光マップ**を作製



プランを通して

若者目線の企画提案により新たな新規顧客獲得

生産品・文化を市内外へPRへ繋がる

Yaizu Baton pass Projectプラン例

お題

1. 浜通りの屋号をテーマにバーチャル経営プラン
2. 焼津温泉の有効利用について考える足湯船巡りプラン
3. 魚河岸シャツの可能性を広げるスタイル提案プラン

モデルプランー2

2泊3日と想定する

4 質の高い教育を
みんなに



8 働きがいも
経済成長も



12 つくる責任
つかう責任



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



焼津市の課題である温泉の有効活用を考えるプラン

2日目

温泉の実態調査

焼津温泉が捨てられている現状を知り有効活用法を考える！

- ✓ 新たにつくられた足湯船を利用して市内の各スポット・各温泉を周り焼津温泉の特徴を学ぶ
- ✓ 焼津温泉の有効活用法を企画する

3日目

他のチームとのコンペティション

- ✓ 他の参加者チームとコンペティションを行い意見交換を行う

モデルプランー2

4 質の高い教育を
みんなに



8 働きがいも
経済成長も



12 つくる責任
つかう責任



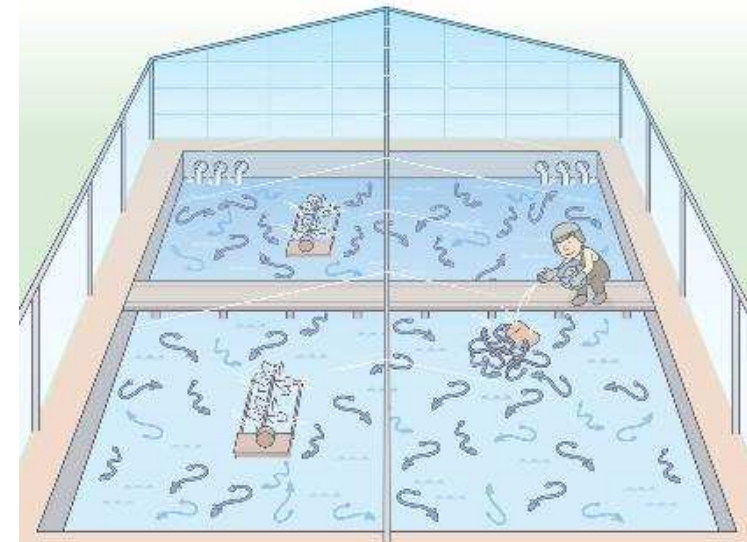
17 パートナーシップで
目標を達成しよう



私たちが考えた有効活用例

捨てられる温泉を焼津市周辺 での陸上養殖養魚に利用

元々塩化物泉で海水に成分が近い
大量の水が必要のため向いているのでは



引用：農林水産省HP

https://www.maff.go.jp/j/tokei/census/gyocen_illust2.html

プランを通して

焼津温泉の有効活用が可能に

Yaizu Baton pass Projectプラン例

お題

1. 浜通りの屋号をテーマにバーチャル経営プラン
2. 焼津温泉の有効利用について考える足湯船巡りプラン
3. 魚河岸シャツの可能性を広げるスタイル提案プラン

モデルプラン-3

4 質の高い教育を
みんなに



8 働きがいも
経済成長も



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



12 つくる責任
つかう責任



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



3泊4日を想定する

- ✓ 魚河岸シャツは市外での知名度・着用率が低い
- ✓ 現在の定義だと**女性が着づらい**



目標

- ✓ **女性が着やすい**ようにデザインを変化させる
- ✓ 魚河岸シャツはそのままの形状に**とらわれない**魚河岸ウェアを**若者目線**で発信する必要がある



そこで、フィールドワークを通して新たな魚河岸シャツを提案するプラン

モデルプラン-3

4 質の高い教育を
みんなに



8 働きがいも
経済成長も



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



12 つくる責任
つかう責任



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



2日目

市内の魚河岸シャツ店の調査

- ✓ 店ごとに販売している魚河岸シャツの商品バリエーションの調査を行う。
- ✓ 魚河岸シャツの販売計画を検討



3日目

女性の生活スタイルに合った魚河岸シャツのデザインの調査・分析

- ✓ 焼津市の魚河岸シャツを着ている女性に聞き込み調査
- ✓ 着用時の課題点を明らかにし、新たなデザインに反映させていく

どのような魚河岸ウェアであれば広められるのか考える

4日目

スタイルコードの発信

- ✓ 現代スタイルの魚河岸ウェアの提案
- ✓ SNSやYBPホームページのスタイルブックで発信していく

モデルプラン-3

4 質の高い教育を
みんなに



8 働きがいも
経済成長も



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



12 つくる責任
つかう責任



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



プランを通して

魚河岸シャツの**新たな価値創造**や
SNSで学生たちが発信していくことで**知名度向上**が期待できる

PR方法

PR方法

1



SNSを活用し、足湯舟の
バーチャル体験動画
などを配信する

2

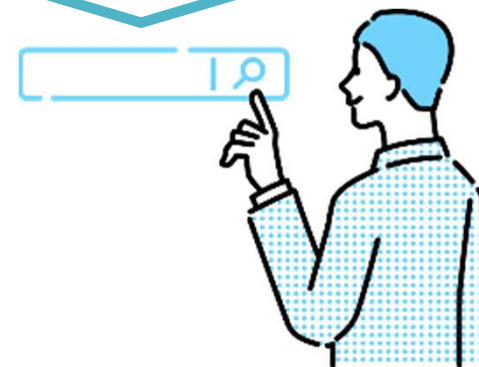


YBPの成果をまとめ
たパンフレットを教
育現場に配布する

3



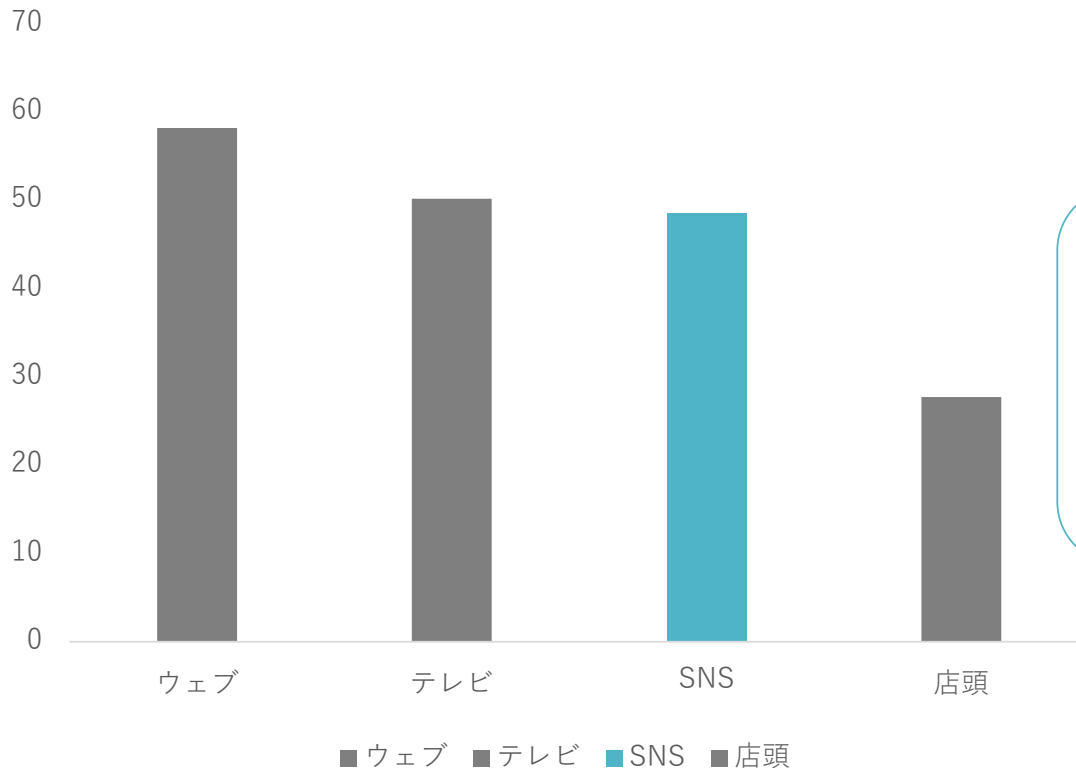
お祭り、地元の高校に
ポスターを設置する



選択理由①SNS広告

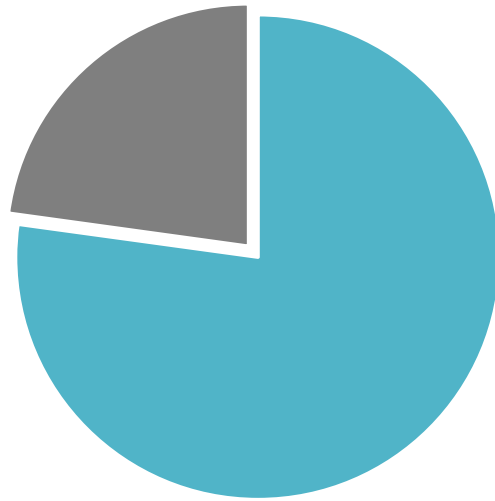
20代の約50%が利用している

欲しいものの情報をどこで手に入れるか



- ✓ テレビ広告と比べてもSNS広告は宣伝費用が低い
 - ✓ 詳細なターゲティングが可能
 - ✓ 拡散されれば多くのリーチを獲得できる可能性がある
- ある
- ✓ 費用対効果を上げやすい

SNS広告をきっかけに商品ページやブランド
サイトを見た経験

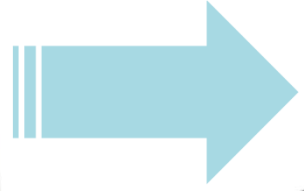


■ ある ■ ない

71%
があると回答

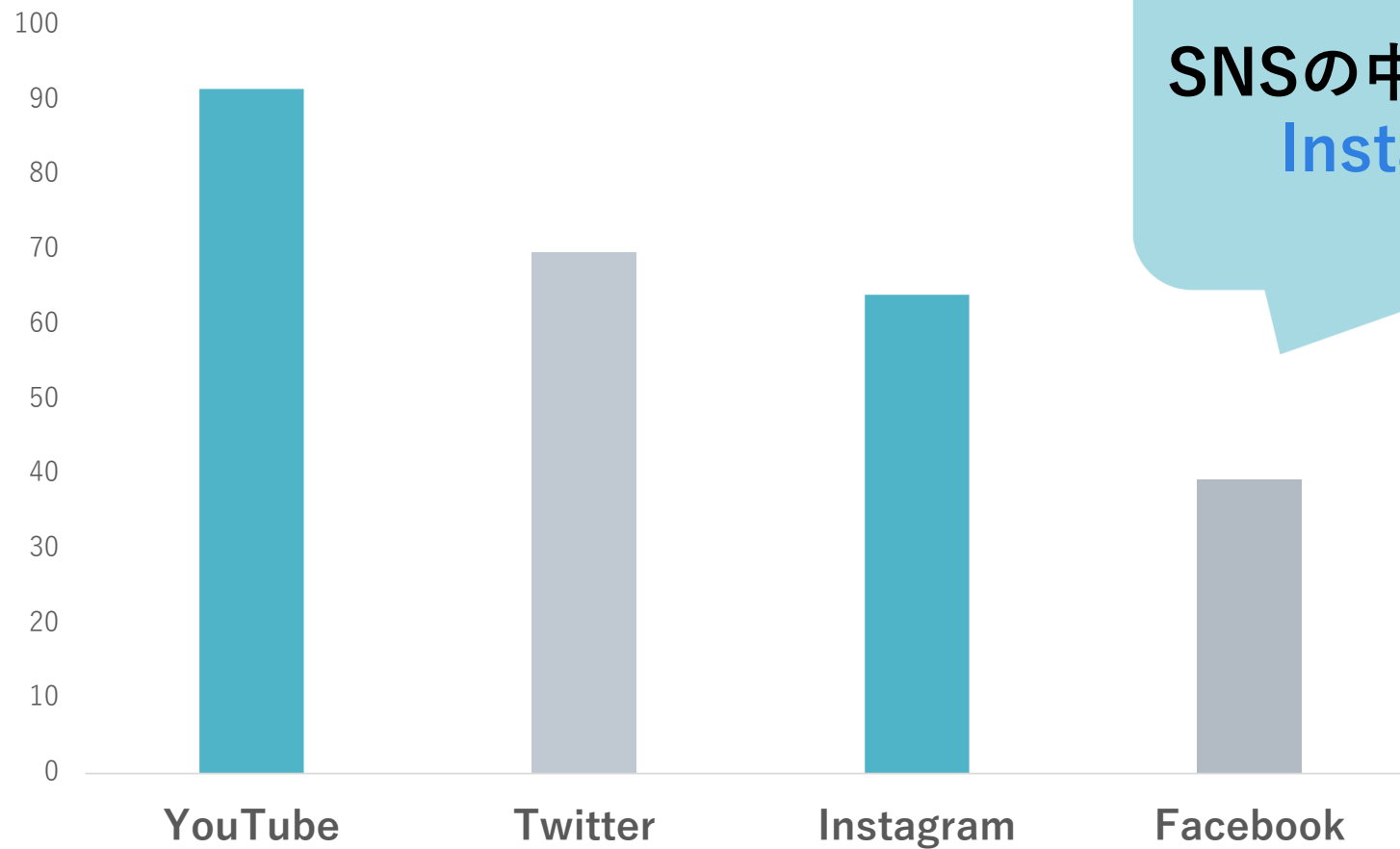


SNSからYBPホーム
ページへの移動を狙う



SNSは広告として有効

10代種別SNS利用率



SNSの中でも **YouTube** と **Instagram** に注目



YouTube

- ✓ アカウントを開設し、足湯船の様子やディスカッションしている様子、参加者へのインタビューの様子をアップ
- ✓ コンペティションの様子を生配信



Instagram

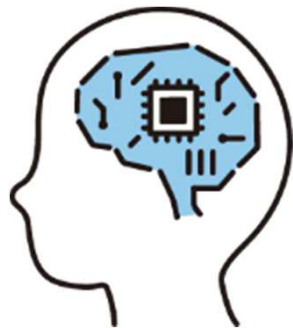
- ✓ アカウントを開設し、YBPが実際に行われている様子を掲載
- ✓ リール動画などの短時間の動画配信を利用し拡散効果を狙う
- ✓ ストーリー機能を利用しフォロワーに興味関心を持たせるような内容を掲載する



学生の利用率の高いYouTubeとInstagramを利用することで
学生の認知率を上げる！！

選択理由②パンフレット

紙媒体の「記憶に残りやすい」というメリットを活かしてSNS広告と合わせてパンフレットも作成！



パンフレットにはYBPの成果を
まとめたものを記載

作成したパンフレットは高校や大学などの教育機関においてもらう
ことで学内での認知率向上を狙う

選択理由③ポスター

地元の高校、お祭り等にてポスターを設置することで、
地元高校生に認知してもらおうことが狙い



まちづくりに関心を持ってもらい…



「高校生が呼び込む」を可能に！

以上のPRを使って・・・

想起集団に入ることを目的とする！

◎想起集団とは？

「ビール飲みたい」と思った時に、アサヒ、エビスなど頭の中でイメージされる購入を検討してもよいと考えるブランドの集合体のこと

「フィールドワークする場所と言えバ？」 「**焼津市！**」

というような大学生の想起集団に入ること

実際にフィールドワークをするために訪れてもらう可能性を高める

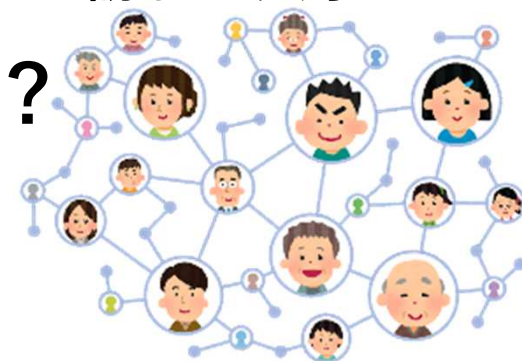
焼津市が想起集団に入るためには？

PR方法で取り上げたようなPRを行うだけではなく
**焼津市に既に訪れている大学生に注目し、
その大学生からの波及効果を狙う**

その大学生とは

焼津みなとマラソン、焼津会場花火大会など焼津市で開催されるイベントに訪れる大学生

➡ **潜在的な需要ととらえることができるのでは？**



焼津市で行われるイベント

焼津みなとマラソン



参加者
大学生ペアの部 約100人
一般の部 約2000人



東洋大学、青山学院大学、國學院大學などの関東圏の大学が数多く出場している

踊夏祭



静岡大学のよさこいサークルの出場あり



虚空蔵尊大祭・だるま市



恵比寿講市



焼津海上花火大会



静浜基地航空祭

焼津市で行われるイベント

焼津みなとマラソン



昭百祭

外部の大学生が訪れている 可能性は高い！



虚空蔵尊大祭・だるま市



恵比寿講市



焼津海上花火大会



静浜基地航空祭

その機会を利用して・・・

◎焼津みなとマラソン

参加券とともに足湯船半額チケットやYBP参加体験を提供！

また、大会参加者に温泉スポーツドリンクを配布



◎市内で開催されるイベント

YBPのプログラムの中で祭りに出店して利益を上げるプランや祭りを介してテーマの認知を高めるプランなど祭りに絡めたフィールドワークを実施！

祭り会場で学生の提案プランを実際に行うことで参加者のYBPの認知を向上する

➡ イベント目的で訪れた大学生も巻き込むことによって
YBPのさらなる認知度向上が期待できる

その機会を利用して・・・

◎焼津みなとマラソン



大学生の潜在需要を増やし、体験を通して
焼津市、YBPの認知度を高め想起集団へと成長させる



イベント目的で訪れた大学生も巻き込むことによって
YBPのさらなる認知度向上が期待できる

このプランの効果とは

効果

1. U・Iターンの増加、促進

2. 将来的な文化継承の人材育成

3. 捨てられる温泉のリサイクル

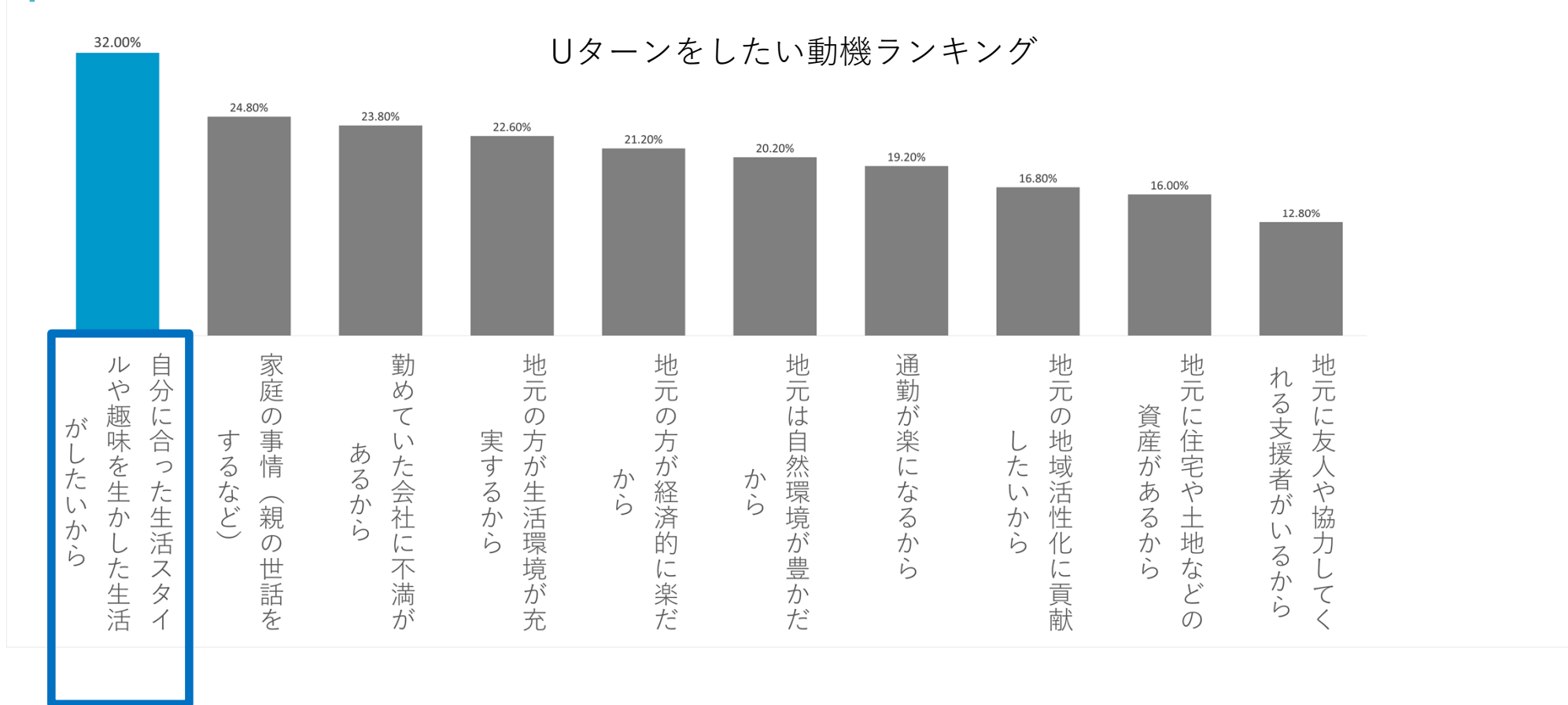
効果

1. U・Iターンの増加、促進

2. 将来的な文化継承の人材育成

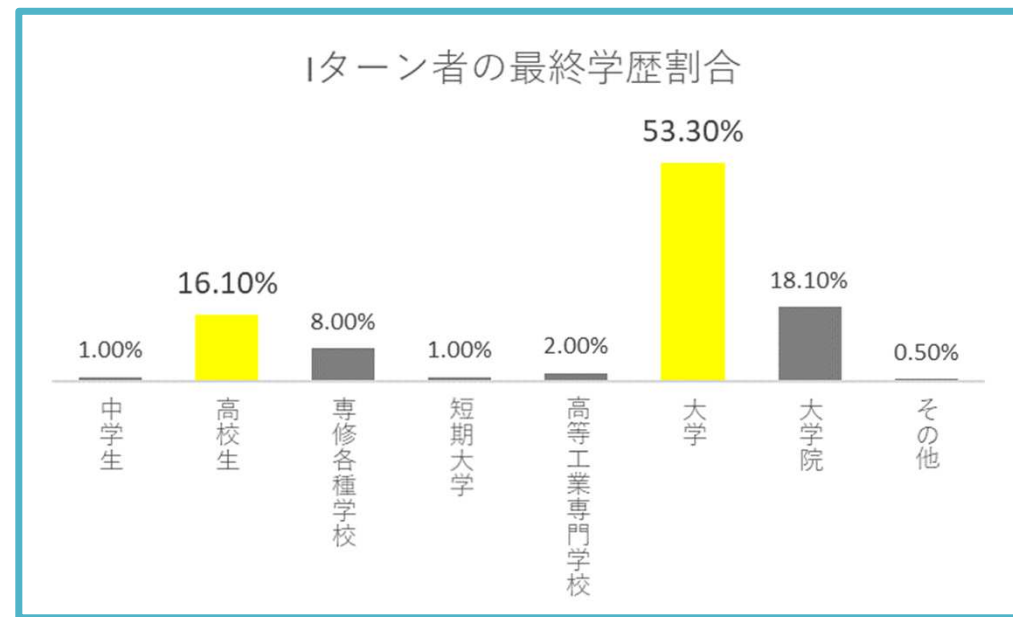
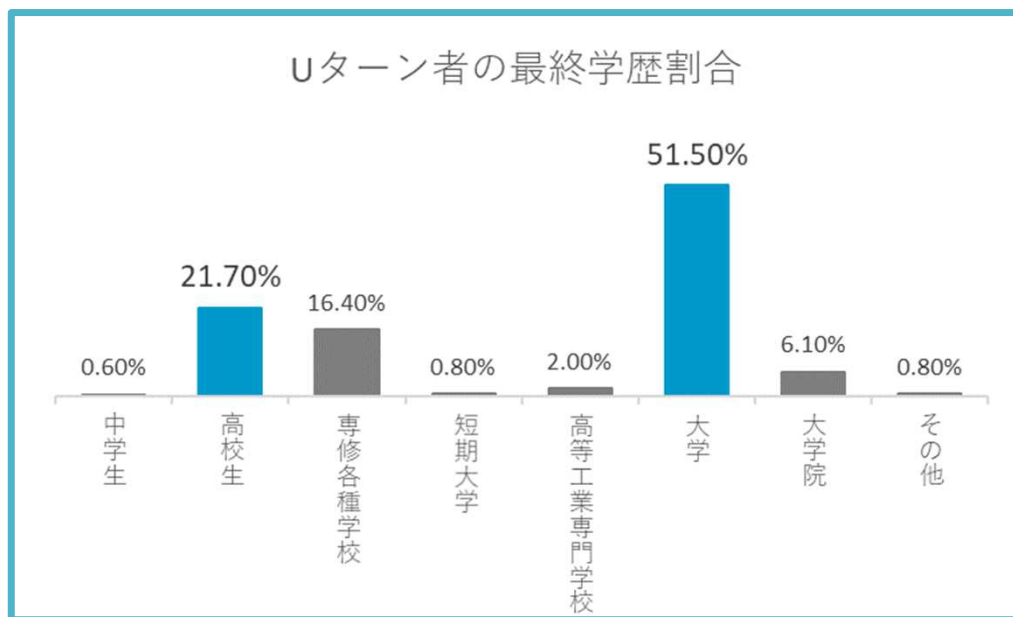
3. 捨てられる温泉のリサイクル

効果1



YBPで焼津生活スタイルを体感し、焼津で**就職するイメージ**を持たせる

効果1



U・Iターン者の最終学歴の割合は**高校**・**大学**が多い

= **YBP**を経験することで焼津市への**U・Iターンのきっかけ**をつくる

効果

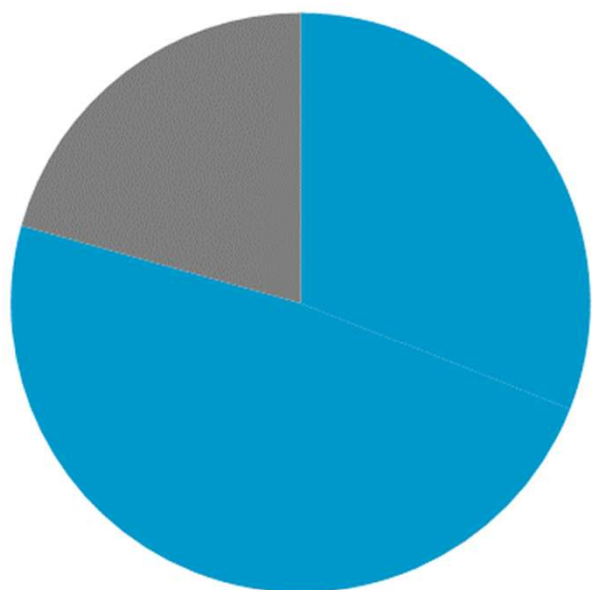
1. U・Iターンの増加、促進

2. **将来的な文化継承の人材育成**

3. 捨てられる温泉のリサイクル

効果 2

「**伝統的**な祭りや歴史的な建物など(存在が、
地域の人々にとって**地域への愛着や誇り**となる」 との考え方



■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ そう思わない

そう思う

79.3%



YBPで焼津の文化的な環境に

愛着や**誇り**が生まれる

効果 2



伝統的な文化・資源
について調べる



一連を通して
コミュニティを形成する



焼津市への
理解を深める



文化や資源に触れる
ことで興味を持つ



文化や資源の活用方法
を考える

▶ 伝統的な文化継承の
ための人材育成
へとつながる

効果

1. U・Iターンの増加、促進

2. 将来的な文化継承の人材育成

3. 捨てられる温泉のリサイクル

効果 3



温泉水の**有効利用**



船で足湯が体験できるという**話題性**



飲料としての**新たな価値**を見出す

効果 3

捨てられる
温泉

飲料として
活用



足湯として
活用

もともと

捨てられるはずの温泉に
付加価値をつけることで

収益を生み出す

温泉資源の持続可能化

経済効果

《初年度の場合》

1チーム5人で4泊5日と仮定する

年間30組とすると・・・

1チームあたり

年間参加者

$$8. \quad 5 \text{ 万円} \times 30 \text{ 組} = \underline{255 \text{ 万円}}$$

まとめ

YBPのSDGs

YBPを通して

SDGsに取り組むことで

焼津市を活性化



～ニューノーマルな観点～

単なる観光ではなく、
教育という形で若者から新しい
アイデアを享受しながら
継続的に観光客を増やしていく

焼津温泉の活用方法

排温泉水

捨てられている
温泉に注目

足湯舟

スポーツドリンク
給水所の設置

「捨てられている焼津温泉」から新たな付加価値を見出し
観光・持続可能なまちづくりへとつなげることができる

特に足湯船は・・・

足湯船はYBP参加者が移動のために使用するだけでなく・・・

**足湯船に乗りながら
お花見や雪景色を眺めて季節を感じたり、
お酒を嗜んだりすることも可能！！**



新規性により一般的な観光客を呼び込むことにもつなげられる

まとめ

焼津市でYBPを行うことで
人と人、資源と文化のつながりを体感し
新たなコミュニティを形成することができる



将来的には

I・Uターン促進効果がみこめる

まとめ

地域への**帰属意識**の高まり、
YBPの継続的なSNS情報発信により
プランの**話題性**を広げることができる。

さらには…

享受したアイデアによって焼津市の**資源の有効活用**を行う！

↳ 焼津市の**発展**につなげることができる

まとめ

地域への**帰属意識**の高まり、

VRP（持続可能な観光）の普及により

持続的な観光客の増加へと繋がる

↳ 焼津市の**発展**につなげることができる

魅力がたーーーーーくさん

焼津市

Yaizu Baton pass Project

——YBPで地域愛を高めませんか?——

ご視聴ありがとうございました